

— 燈世談仏事編 —

令和8年正月
No.0011
編集者
西原・木村

日本十三宗紹介その八
浄土真宗

午歳秩父34秘仏総開帳

一燈世談余録

一燈世談仏事編

(7) 古神道を探る
十種の教え 七と八

ある日老女が

訪ねて来ました

70才を過ぎました

7歳の誕生日

録 で神哀べへ身分し職へ差てつ様分み八をれにくな別の：声分葉方枝る切七
一參大様れらお上はをに人し下 が上く しはいれいれ様切一けのは分勵れ
シ考切のにれ供瀆新他つ生上に食飲げい上で自るな因たなりにて理前かきて切
リ：な傍思てえしし人な一げ捨べ食下一げき分ケい縁い別別すへ”回れを別り
一 行にいし一因いにが下らて物入げ入下たも一意がのれれる色で六のいれ別
ズ不事供そまは縁物食るりれたをる受るげ種人ス地あにでは働く様うてれ
一思で養のう人 をわ。坂無り粗理持理飲がいで悪り別す細きの息“な 別の
議すす靈生間献食せ食 い他末をち 食原意すと別れ。胞に一を風分
な。る魂物に饌す、い食人人に受の॥へ因地。一れら 分属音吹とか
記 のをを食 ॥自残ははにし持神身の。悪こ緒てれ 裂し き言れ



佐渡上陸の地

長し笠人意こ流に入歳すとるそす境悔い世る講なこにるいが称は開
2門間で。の罪念りで。言道の。遇し。に。談がと高事の人お京祖
年法でも出時。仏し下比いを弱松のな生い8・らが座を力々東都は
9を念な家に放禁ま山歎息歩き若人けまら才浪こ有に説へをさ府親鸞聖
0説仏い者非免止し山をん者丸がれれぬの曲こり上い他救ん東本山
歳きを意で僧は令。法に引でにへ大ばた者時等かまりて力う
でま広。も非3で3然入り欲光幼勢い事なにがらす説いーと阿願人
死すめ茨な俗9越5にり取しを名いけさど一生落。経るをい弥寺
去。妻城くを才後才弟2りい当一まなえいこま語余す。信う陀本
・弘帶県俗決。に時子9まーては い後なのれ・談る時じ誓仏通山

今	いを叶りた様音でう秩支直日歳父が前いま私はざ皆百	接頃総札、回たすはどいはんまん明百の声あり木々芽吹く	秩父 観音院句碑	午歳秩父34秘仏総開帳
年	な目えまらの様あま父接頃総札、回たすはどいはんまん明百の声あり木々芽吹く	押お開所今御し様、んまん明百の声あり木々芽吹く		

お祓いなんでも 一燈社

フォーラムでは隨時特別講演参加希望者を募集しています。

電話&FAX 03-3411-8043 携帯090-2228-3501

事務局 西原 木村

一燈社フォーラム伝言板

仏教・神道の伝導:講師 木村恵白 西原絞陽

外部講師による講演:自薦他薦希望者募集中

仏事・神道に関する相談は隨時 何でも可

会場	後半	前半	午後六時～八時	◎正月十日（土曜日）	二月七日（土曜日）	一燈社心得	一燈社は会費で運営され 一年会費一万二千円	一燈世談余録
渋谷区区 ターザン 大和田文化 二二二 F	講師九星氣学 木村応用編	講師古神道神折符 西原ほか						